

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズジュニア行徳			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日		～	2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日		～	2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方と半年に1度面談の上、個別支援計画の更新を適切に行うことが出来ている。 職員間でも支援目標の共有を行い、計画に沿った支援が行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の作成後には策定会議を行い、具体的な支援方法を統一したうえで目標を設定している。 目標を一覧で確認出来る様にし、いつでも指導員が確認しながら支援にあたるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画更新のタイミングだけでなく、利用者の状況に応じて定期的に個別課題の内容を見直し、より現状に即した課題設定を行っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒1人1人に合わせた支援について、職員間で話し合い療育を提供することで、生徒・保護者共に安心して通える教室だと感じて頂き、高い満足度に繋がられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日支援前にミーティングを行い、情報共有、支援の方向性の確認をしたうえで支援にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援後の時間確保が難しく、当日中の振り返りが出来ない事が多いため、短時間で終りを設定できるように検討を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害に備えた避難訓練の実施や、事故や怪我があった場合の保護者対応等、非常時の対策・対応ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> BCPマニュアル等、各種マニュアルをもとに災害時の対応を設定している。 月1回以上の避難訓練を実施しており、地震・火災だけでなく水害や雪害、不審者対応等の訓練も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの内容が多岐にわたるため、指導員の入れ替わったタイミング等で定期的に読み合せて確認する時間を確保し、全職員の把握と適切な対応に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の所在地と利用者の居住地が離れており、地域とのつながりが希薄である。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度より事業所近辺の方の利用開始予定があるため、地元の学校や相談支援を訪問した際などに交流先を確認していく。 自治体の発信する情報などから地域のイベント予定を確認し、参加を検討する。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会、保護者会など保護者同士の交流の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の保護者会開催を行っているが、就労されている保護者が多く、保護者会を開催しても参加率が低い。 ・事業所と利用者の居住地が離れており、事業所まで足を運ぶのに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に参加できるスケジュールを保護者に確認する、1日ではなく複数日にわたっての開催をし、どこか1日は参加できるようにする等、参加率を上げる工夫を行う。 ・オンラインでの開催等、直接事業所まで足を運ばずとも参加できる保護者会を企画する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等、各種マニュアルが整備されていることがあまり周知できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを直接保護者に見せる機会が少ない。 ・日々の活動の様子の伝達が送迎時の口頭伝達や保護者面談など限られた機会のみになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレターやブログ等で日々の活動の様子を共有する機会を増やし、その中でどういったマニュアルに沿って対応しているか説明する機会を設けていく。 ・保護者会等の場面で直接マニュアルを確認いただく機会を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズジュニア行徳				公表日	2026年3月20日	
					利用児童数	25	回収数 20
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		1	3	・もっと子どもたちがのびのびできるスペースが欲しい。	・活動内容に応じて机等の配置を変更して対応している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		6	・以前より職員さんの数が少ないように思います。問題はないと思いますが…。 ・正直、職員の配置人数を把握していないので回答できません。 ・どういった専門性を持っているのか把握していない。	・常に基準以上の人員を配置することができているが、近隣教室とも連携し、職員の不足がないよう対応している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			3		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1	・最近、さらに自発的に出てくる言葉も増えました。ほぼ毎日ありがとうございます。 ・そういう支援をしていることを保護者にも教えてほしい。	・送迎時等、どういった意図で支援を行っているかも踏まえ説明を行う。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	19					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	4	5		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	2	3	・家族も参加できる研修会等のお知らせを聞いたことがありません。	・家族で参加できるイベントの企画を行っている。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1			・出来ているところと、共有出来ていないところがあります。	・職員間で情報共有を徹底し、伝達漏れがないようにしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	5	5	・兄弟支援(中高生向け)あるといいなと思います。 ・兄弟のイベント等のお知らせを聞いたことがありません。	・家族も巻き込んだイベントの展開として、どのようなものが求められているか意見を募りながら検討していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3		3	・毎年、4月にスタッフに人事異動等があり送迎の時に自己紹介は、ありますが出来ればニュースレター等に写真や名前等を掲載してもらえると助かります。	・職員体制に変更があった際はわかりやすい形で伝達していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2		4		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14		1	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				・学校では何かあるらしく吐いてしまうのにスマートキッズから帰宅した後はニコニコ。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				・学校に行く前、朝何するかチェックします。とても楽しみにしています。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマートキッズジュニア行徳		公表日		2026年3月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・職員の体調不良などがある場合は近隣教室と協力して対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・教室は2階にあるため、バリアフリー化は完全ではない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3		・毎日業務前ミーティングを行っているが、情報の共有にとどまっていることが多い為、改善に繋がれるようにする。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		・現在実施できていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・半年に1度支援計画更新の面談を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		・全社で統一されたツールを用いているが、職員全体に周知が出来ていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3		・職員の業務の偏りが発生してしまっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	・その時期にいる子どもたちにハマるものがあれば固定化にもメリットがある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		・個々で振り返りを行ったり、翌日に共有を行うことはあるが、送迎後の時間の確保が難しく、当日中の振り返りは出来ていないことが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・学校、相談支援事業所とは適宜連携を行っている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	2	・保護者経由でのやりとりが多いが、必要な事項の確認は出来ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・中学生からの受け入れのためなし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	・現在行っていないが、情報提供を求められた際に応じる体制は出来ている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・出来ていないが、必要性を感じないとの保護者意見もある。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		・年2回保護者会を実施しているが、就労の関係で参加者は少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
		45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		・口頭での共有が多く、報告書の整理ができていない部分がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		